

3-C-2. 主・副包材経費削減

<三菱化学物流(株)>

1. 概要

項目	内容
包装資材等削減対策	その他
主な対象貨物	化学薬品
導入時期	2002年5月

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 包装資材費の低減

2) 狙い

包装資材等に掛かる費用が膨大な事に気づき、原因の解明と費用削減に取り組んだ。

- ・ 各所管部署毎に包装資材(パレット、フレコンバック、副包材)を独自の物を購入しているが仕様を統一し費用が削減出来ないか。
- ・ 各所管部署間の情報がオープンにされていないが、オープン化して仕様の統一が出来ないか。
- ・ 単価設定が購買任せになっているが、コスト意識を持って統一単価設定が出来ないか。

3. 事業内容

1) 各所管部署の担当者参加による現状の把握。

2) 担当者をパレット、フレコンバック、副包材の3班に分け検討。

- ・ パレット班:パレットの仕様、単価を洗い出し同一仕様の底値に単価統一出来ないか、仕様統一し底値を取り決めた。
- ・ フレコン班:同一容量で単価の大幅な違いが、法規制(危険物使用)にあるが、国内と輸出の仕様が同一仕様であったのを、国内の仕様を規制緩和仕様に見直した。
- ・ 副包材班:製品に添付するカードの仕様、単価を洗い出し底値に単価統一が出来ないか仕様統一を検討したが法規制で統一が出来ないため、ラベルプリンターを導入して単価の削減をした。

4. 対策効果

<削減額>

・パレット班	1.7百万/年
・副包材班	2.2百万/年
・フレコン班	12.0百万/年
合計	15.9百万/年

5. 課題

- ・ 小集団活動を活用し改善に努める。